昭和十五年度直轄工事年報

總論

第一治水事業

我國ハ古來水害多ク其損失價額モ年々數千萬圓ノ多キニ達スルヲ以テ政府ハ夙ニ治水ノ必要ヲ認メ河川ノ修築改良ニ努力セルコト久シ而シテ政府ガ始テ直轄工事ヲ施行シタル河川ハ淀川ニシテ其起工ハ實ニ明治七年五月ニ在リ次デ同八年六月利根川ノ工事ニ着手シ翌九年十一月ニハ信濃川ノ工事ヲ起シ同十一年三月ニハ木曾川、同十五年六月ニハ北上川、同年七月ニハ阿賀野川、同十六年八月ニハ富士川、同年十一月ニハ庄川、同十七年四月ニハ阿武隈川、同年七月ニハ最上川及筑後川、同年八月ニハ吉野川、同十八年三月ニハ大井川、同年六月ニハ天龍川ノ工事ヲ實施スルニ至リシガ是等十四河川ノ工事ハ專ラ低水工事及砂防工事ヲ施行シタリシモノニシテ明治十九年ニ至リ始テ淀川以外ノ河川ニ高水工事ヲモ併セ行フコトトシ夫々工事ヲ進行セシメタリ其後同二十九年四月ニ至リ法律第七十一號ヲ以テ河川法ヲ公布セラレタル結果同法ニ依リ淀、筑後ノ兩川ニハ同年六月ヨリ高水防禦工事ヲ實施スル事トナリ續テ同三十三年四月ニハ庄川、九頭龍川、同年九月ニハ利根川第一期工事、同三十九年四月ニハ遠賀川、同四十年四月ニハ淀川下流、吉野川、高梁川、信濃川分水工事、同四十一年一月ニハ利根川第二期工事、同四十二年四月ニハ同川第三期工事、同四十三年四月ニハ利根川支川渡良瀬川ノ改修工事ヲ施行スルニ至レリ然ルニ明治四十三年ニ於テ全國各地方大水害ノ爲メ未曾有ノ悲慘事ヲ現出セルニ依リ政府ハ臨時治水調査會ヲ設ケ根本的治水ノ計畫ヲ樹立スルコトトナリ同會ニ於テ決議シタル計畫豫算ヲ第三十七回帝國議會ニ提出シテ協賛ヲ得、同四十四

年度ヨリ該計畫通リ事業ヲ遂行スルニ至レリ右計畫ハ河川改修ト砂防トノ二工事トシ河川ノ改修ハ河川法ニ依リ國ノ直轄事業トシテ改修ヲ爲スベキ河川ヲ六十五河川ト定メ之ガ施行時期ヲ二期ニ區別シ改修ノ利益ヲ可成的全國各地ニ均霑セシメントスルモノナリ其河川名左ノ如シ

第一期河川（以上二十河川）

利根川　信濃川　木曾川　淀　川　九頭龍川
吉野川　庄　川　高梁川　遠賀川　北上川
雄物川　荒　川　阿賀野川　富士川　最上川
神通川　岩木川　加古川　綠　川　斐伊川

第二期河川（以上四十五河川）

天龍川　阿武隈川　筑後川　那珂川　庄内川
中　川　手取川　矢作川　大和川　吉井川
馬淵川　紀ノ川　大淀川　由良川　多摩川
關川　米代川　鳴瀨川　久慈川　菊池川
鄉　川　旭　川　渡　川　蘆田川　川内川
相坂川　千代川　鶴見川　大野川　球磨川
相模川　肱　川　矢部川　狩野川　圓山川
肝屬川　太田川（靜岡）　豐　川　白　川　大分川
酒匂川　鈴鹿川　太田川（廣島）　名取川　仁淀川

右ノ內第一期河川ハ大正十七年度（昭和三年度）迄ニ全部ヲ竣功セシメ第二期河川ハ第一期河川ノ工事期間內ニ調査ヲ行ヒ第一期河川改修工事ノ竣功ヲ俟チ改修ニ着手シ得ベキ準備ヲ爲スコトトシ又砂防工事ハ河川改修ノ計畫ニ伴ヒ直轄河川ノ流域ニ對シテハ國自ラ之ヲ施行スルヲ原則トシ地方行政廳ニ於テ施行スルモノニ對シテハ國庫ヨリ相當ノ補助ヲ與フルコトトセリ

以上ノ計畫ニ依リ明治四十四年度以降著々事業ノ進捗ニ努メタルモ大正二年度ニ至リ財政上ノ都合ニ依リ一部繰延ノ不得止ニ至リタル爲メ第一期事業全體ノ完成年限ヲ一箇年度延長シ同十八年度迄ニ全部完成ノコトニ變更シタルモ大正十年度ニ至リ第一期河川中既ニ竣功セルモノ三河川ト竣功ニ近ヅケルモノ數河川ニシテ未着手ノモノハ斐伊、綠ノ二河川ニ過ギザリシ（後兩川トモ著工）ト一面ニハ河狀ノ變化、產業ノ推移等治水計畫上更ニ調査ヲ必要トシタルヲ以テ第二次臨時治水調査會ニ於テ愼重審議ノ結果既ニ國ニ於テ施行中ノ河川竝ニ砂防工事ノ外ニ前記第二期河川其他ヨリ改修河川ヲ選定シ大正十一年度以降二十箇年度內ニ施行スルヲ適當ナリト認メ之ガ決定ヲ見タルモノ卽チ左記河川是ナリ

鬼怒川（利根川支川）　小貝川（利根川支川）　信濃川上流（新潟縣下）　犀川（信濃川支川）
野洲川（淀川支川）　木津川（淀川支川）　北上川上流　雄物川上流
最上川上流　天龍川　阿武隈川　筑後川
那珂川　庄內川　手取川　矢作川
大和川　吉井川　馬淵川　紀ノ川
大淀川　由良川　關川　米代川
久慈川　旭川　渡川　蘆田川
川內川　千代川　鶴見川　大野川

相模川　肱川　狩野川　肝屬川
豊川　白川　大分川　酒匂川
鈴鹿川　太田川（廣島）　名取川　仁淀川
新宮川　安倍川　菊川　大井川
北川　常願寺川　小矢部川　黒部川
天神川　日野川　佐波川　那賀川
土器川

（以上五十七河川）

右ノ内帝國議會ニ於テ改修スベキ繼續事業トシテ協賛ヲ經タルモノハ信濃川上流、天龍、千代、蘆田、紀ノ、筑後、北、旭、鬼怒、大淀、狩野、那賀、大野、渡、木津、川内及太田（靜岡）、安倍ノ各川並多摩川上流ノ十九河川ナリトス

斯ノ如ク政府ハ鋭意河川改修工事ニ努力セリト雖モ其ノ改修區域ハ利害ノ關係極メテ重大ナル部分ノミナルヲ以テ其ノ上流又ハ支派川改修ノ如キハ自然之ヲ關係地方ノ經營ニ委ネザルベカラズ又第二期河川ノ改修ハ第一期河川工事ノ竣功後ニ非ザレバ著手スル能ハザルノ狀況ナルモ比年洪水頻リニ臻リ損害甚大ナルヲ以テ政府ハ益々河川改修速成ノ緊要ナルヲ認メ關係府縣ニ於テ根本的改修計畫ノ調査ヲ了シ工事ニ著手スルニ於テハ國庫財政ノ都合ニ依リ相當ノ補助ヲ與ヘ且場合ニ依リ明治三十年法律第三十七號ニ基キ内務大臣ニ於テ事業ヲ直接施行スルノ方針ヲ決定シ河川改良費トシテ大正六年度ヨリ江合、鳴瀬兩川改修費ヘ國庫ヨリ二分ノ一ヲ補助シ同七年度ヨリハ多摩川、千曲川（信濃川上流）ノ改修工事ニモ亦工費ノ半額ヲ補助シ且其ノ事業ヲ直接施行スルコトトナリ尚翌八年度ヨリハ太田川（靜岡）、阿賀、阿武隈兩川ノ改修工事、同九年度ヨリハ圓山川ノ改修工事ニ對シ就レモ半額ノ補助ヲ與ヘ且其ノ工事ヲ全部直接施行スル事トナリシガ以上七河川トモ同十二年度ヨリ他ノ河川ト共ニ直轄施行ノコトトナレリ又淀川改修工事ハ大正六年九月三十日及同年十月一日ノ大河水ニ鑑ミ更ニ增補

工事ヲ施行スルノ必要ヲ認メ大正七年度以降河川法第八條ニ依リ該工事ヲ直轄施行スルニ至レリ而シテ治水事業ハ昭和五、六兩年度ニ於テ繰延節約サレタル結果繼續各年度割額僅少トナリ全般ニ亙ル工事ノ進捗ヲ遲延スルノ止ム無キニ至レリ就中工事施行ノ最盛期ニ當ル河川ニ在リテハ施行ノ手順ニ大ナル支障ヲ來セルノミナラズ既成部分ノ工事ヲ維持スル上ニ必要トスルモノ又ハ其效果ヲ充分ナラシムル爲メ急施ヲ要スルモノアルモ少額ノ年度割ニテハ到底工事ヲ遂行シ能ハザルガ故ニ八年度ニ於テハ經濟界ノ不況ニ因ル時局匡救ト農村振興ノ意味ヲ以テ既定年割額ノ外荒川上流外十六箇川等ニ係ル總額四百六十萬五千三百圓（內地方負擔二十五萬圓）ヲ繰上ゲ施行ノコトトナレリ

昭和八年十一月ノ土木會議ニ於テ第三次治水計畫ヲ樹立セリ卽チ明治四十三年ノ臨時治水調査會ノ決議ニ依リ豫定方針ニ從ヘバ今後八箇年度內ニ四十一箇川ノ改修ヲ行ハザルベカラザルガ國庫ノ財政ハ是等多數ノ河川ヲ此短期間ニ改修スルコト到底困難ナリト認メラルルヲ以テ緊急改修ヲ要スル左記河川ニ在テハ今後十箇年度內ニ着工シ同十五箇年度內ニ完成シ其他ノ河川ハ之ニ續テ著工スルヲ適當ト認メラル其河川ハ次ノ如シ

北上川上流　米代川　雄物川上流　阿武隈川下流
久慈川　入間川　鶴見川　相模川
黒部川　常願寺川　小矢部川　手取川
豊川　庄內川　新宮川　由良川
天神川　吉井川　郷川　菊池川
白川　球磨川　大分川　肝屬川

（以上二十四河川）

此以外ノ河川ニ在テモ今後河川ノ變化ニ依リ水害著シク增大シテ速ニ改修工事施行ノ必要アル場合ニ於テハ直ニ追加シテ工

事ニ著手スルモノトシ又國ノ直轄改修ヲ俟タズ府縣ニ於テ改良工事ニ著手スル場合ハ別途中小河川改修ノ例ニ倣ヒ國庫ニ於テ助成スルモノトス

又現ニ改修工事ノ一部ニ著手シタル左記河川ハ今後繼續施工シ其完成ヲ期スルモノニシテ木曾川下流ハ既ニ一應改修濟ナルモ現在ノ堤防ヲ以テシテハ其安全ヲ期シ難キヲ以テ成ルベク速ニ其ノ增補工事ヲ行フモノトス

最上川上流　小貝川　烏川（神流川ヲ含ム）　菊川
矢作川　大和川

砂防ニ就テハ既定計畫ニ基キ鋭意遂行シ來リタルモ尙利害ノ關係重大ニシテ工事困難ナル左記十九河川ヲ國ノ直轄トシテ今後十箇年度內ニ著工シ同十五箇年度內ニ完成スルモノトス

最上川支流立谷澤川　同　銅山川　阿武隈川支流荒川
利根川支流鬼怒川　同　渡良瀨川　相模川
信濃川支流清津川　黑部川　富士川水系
信濃川水系　天龍川水系　庄內川上流土岐川
木曾川支流中津川（落合川ヲ含ム）　安倍川　大井川
淀川支流野洲川　淀川支流大戶川　新宮川支流十津川
蘆田川

而シテ既定河川ノ內本年度迄ニ完成ヲ告ゲタルハ筑後川、淀川（增補工事トモ）、木曾川下流、庄川、遠賀川、淀川下流、九頭龍川ノ幹川及同支川日野川及足羽川、渡良瀨川（利根川支川）、信濃川、吉野川、高梁川、利根川第一期乃至第三期（江戶川、中川ヲ含ム）、荒川下流、阿賀野川、多摩川、北上川、太田川（靜岡）、加古川、神通川、圓山川ノ十八流域ニシテ工事中ニ

係ルモノハ荒川上流、最上川、江合鳴瀬兩川、雄物川、千曲川（信濃川上流）、岩木川、阿賀阿武隈兩川、富士川、木曾川上流、斐伊川、信濃川上流（新潟縣下）、天龍川、千代川、蘆田川、紀ノ川、筑後川新工事、綠川、北川、旭川、鬼怒川（利根川支川）、大淀川、狩野川、那賀川、大野川、渡川、木津川（淀川支川）、川內川、太田川（廣島）、安倍川、多摩川上流、最上川上流、矢作川、淀川低水、小貝川、菊川、烏神流川、手取川、小矢部川、天神川、阿武隈川下流、木曾川下流增補、常願寺川、米代川、肝屬川、球磨川、黑部川、馬淵川、大和川、久慈川、豐川、利根川（增補）、表六甲河川、鶴見川、猪名川、菊池川、庄川ノ五十六工事ナリ而シテ右ノ內附屬物及水路維持工事トシテ實施中ナルハ木曾川、淀川、利根渡良瀨兩川、信濃川、荒川、多摩川、北上川ノ八河川ナリ又河川ノ水源保全タル砂防工事ノ竣功シタルハ吉野川及野洲川（淀川支川）、神通川、桂川（淀川支川）ノ四河川ニシテ實施中ノモノハ淀川流域（瀨田川）、富士川、信濃川水系（千曲川）、鬼怒川（利根川支川）、常願寺川、手取川、揖斐川（舊木曾川支川）、木津川（淀川支川）、神通川、烏川（利根川支川）、天神川、荒川（阿武隈川支川）、小澁川（天龍川支川）、渡良瀨川（利根川支川）、魚野川、（信濃川支川）、中津落合兩川（木曾川支川）、土岐川（庄內川上流）、大河內川（安倍川支川）、立谷澤川（最上川支川）、六甲山系ノ各河川ナリ此內淀川ハ昭和四年度ヲ以テ豫定計畫期間滿了トナリシモ急施ヲ要スル箇所ニ對シ更ニ十箇年度ノ續工ヲ爲セルモノニシテ千曲川モ同七年度ヲ以テ竣成ノ豫定ナリシガ是亦本川及支川犀川ニ於ケル荒廢溪流ニ對シ施工ノ要アルヲ以テ信濃川水系ト改稱シ七年九月以降農村振興土木事業トシテ追加工事ノ施行ヲ見タルモノナリトス

第二　港灣改良事業

港灣改良工事ニ關シテハ明治初年以來或ハ直轄工事ヲ起シ或ハ國庫補助ヲ與ヘ之ガ助成ニ努力シタリシガ國運ノ急進ト共ニ港灣問題ハ益々重要ヲ加ヘ天然ノ儘ニ放任スルヲ許サズ隨時隨所ニ之ガ施設ヲ見ルニ至レリ明治三十三年六月勅令第二百六

十二號ヲ以テ港灣調査會ヲ新設シ港灣ニ關スル重要事項ヲ審議セシメタリシモ同會ハ同三十六年ニ至リ各種ノ調査會廢止ト共ニ一時廢絕シ其後同三十九年六月ニ至リ再ビ內務省ニ港灣調査會ヲ設置シ更ニ同四十年六月勅令第二百四十三號ヲ以テ港灣調査會官制ヲ定メラレ同會ニ於テ本邦ノ港灣ヲ三種ニ分チ第一ハ國ニ於テ修築スルモノ、第二ハ地方起工ノモノニ對シ國庫ヨリ相當補助ヲ與フルモノ、第三ハ地方ノ獨力經營ニ委ヌベキモノトニ區別シ卽チ明治四十年十月同調査會ニ於テ第一種港灣トシテハ橫濱、神戶、關門海峽（下關、門司）、敦賀ノ五港ヲ選定シ第二種港灣トシテハ東京、伊勢灣內ノ一港、大阪、鹿兒島、長崎、境、新潟、船川（土崎ヲ含ム）、靑森、仙臺灣內ノ一港（明治四十三年五月伊勢灣內ノ一港トシテハ四日市港、仙臺灣內ノ一港トシテハ鹽釜港ヲ選定ス）ノ十港ト定メ又大正八年七月名古屋港ヲ、同九年十月淸水、那覇ノ兩港ヲ、同十年六月若松、高松、小松島、今治、伏木、伊萬里ノ六港ヲ加ヘ更ニ昭和二年十一月小名濱、細島、浦戶（後高知ト改稱）、宮古、大分、七尾、尾道、博多ノ八港ヲ選定シ同三年八月舞鶴港ヲ、同四年七月酒田港ヲ、同年十二月三角、宇野ノ兩港ヲ、同八年一月和歌山、廣島ノ兩港ヲ、同十年二月八戶、飾磨、宇部ノ三港ヲ、同十一年十二月唐津港ヲ追加シ三十七港ヲ數ヘ第一種、第二種ヲ通ジテ四十二港トナレリ而シテ明治三十年法律第三十七號ニ依リ地方ノ事業ヲ國ニ於テ直接施行スルモノ漸次多キヲ加ヘ一面ニハ大藏省ニ於ケル橫濱、神戶及門司ノ諸港ニ稅關設備トシテ港灣工事ヲ施行シ居レルガ爲メ我國港灣ノ施設經營ニ關スル行政制度ノ紛更ヲ招來セルノ虞アルニ鑑ミ大正七年十月閣議ニ於テ港灣ノ經營ヲ內務省ニ統一施行スルノ決定ヲ見タリ

重要諸港灣中敦賀港ハ明治四十二年七月起工シ大正三年三月竣功シタリシモ其後第二期修築工事ヲ行フノ必要ヲ認メ更ニ同十一年度ヨリ起工シ昭和七年度ヲ以テ竣功ヲ告ゲタリ又關門海峽改良工事ハ明治四十三年度ニ於テ（直轄起工第二期工事トシテ昭和四十年度以降十五箇年間ニ完了ノ豫定ナリシガ財政ノ都合ニ依リ每年單年度豫算ニテ續工）シ又四日市港ハ同年度ヨリ三重縣ニ於テ施行シ船川港ハ同四十四年度ヨリ秋田縣ニ於テ施行セルガ兩港トモ大正三年度ヨリ補助港トナリ又神戶港

防波堤築造工事、同修築工事、門司港修築工事ハ大正八年度ヨリ横濱港維持工事ハ同四十年度ヨリ下關港ハ同十年度ヨリ起工セシガ上記ノ内神戸港防波堤築造工事及門司港ハ同八年度ヨリ横濱港維持工事ハ同十年度ヨリ内務省所管トナリ各修築工事ニ包括サレ何レモ目下工事實施中ナリ而シテ鹽釜港修築工事ハ國庫ヨリ補助セラレ同三年度ヨリ起工シ其他國庫補助工事トシテハ新潟港ハ同六年度ヨリ起工（市ノ起工セシヲ縣ニ於テ繼承）シ十四年度ニ於テ竣功セシモ新ニ同年度ヨリ六箇年度ヲ以テ直接施行スルコトトナレリ長崎港ハ同九年度ヨリ起工シ又直轄施行ノ下關港及清水港（十一、二年度震災復舊ニ係ル追加工事アリ）ハ同十年度ヨリ起工シ、高松、境ノ兩港亦同十一年度ヨリ起工シ、今治港ハ今治市ノ施工ナリシヲ同十二年度ヨリ直接施行トシ、小松島及鹿兒島ノ兩港モ同年度ヨリ起工シ、伏木港ハ同十三年度ヨリ起工シタリ又土崎港ハ昭和三年度乃至八年度ニ於ケル秋田縣施行ノ工事ナリシガ小名濱、宮古、浦戸（高知ト改稱）、七尾、尾道、舞鶴、博多ノ七港ト共ニ昭和四年度ヨリ是亦國ノ直接施行トシテ起工シ夫々工事實施中ナリ而シテ右ノ港灣工事ハ何レモ明治三十年法律第三十七號ニ依リ施行スルモノナリ

昭和八年度ニ於テハ既定修築費ノ一割ヲ節約、實行豫算トシ其既定工事ヲ施行スルノ外產業振興事業トシテ横濱外九港ノ修築費ヲ十萬圓乃至四十萬圓ヲ繰上ゲ以テ港灣機能ノ充實ヲ促進スベク其繰上總額百三十五萬圓（内地方負擔五十六萬圓）ナリ尚關門海峽及神戸港、今治港、鹿兒島港、鹽釜港ノ各港ハ產業開發ノ爲メ新工事ヲ追加起興スルコトトシ尚重要港灣ニシテ未ダ改良工事ヲ施行セザル港灣中昭和七年度ヨリ改良工事ニ著手セルモノハ大分港、三角港、細島港、宇野港ノ四港ニシテ又青森港第二期ト若松港トハ共ニ國庫補助工事トシテ是亦同年度ヨリ、起工シ酒田、和歌山、宇部、廣島ノ各港ハ時局匡救事業トシテ八幡、戸畑兩港ハ航路改良ト共ニ十一年度ヨリ下關港ハ第二期工事トシテ十二年度ヨリ起工、新潟港ハ十四年度ヨリ六箇年度、苅田港ハ同年度ヨリ四箇年度、臨海地帶ノ造成工事ハ十五年度乃至同二十四年度ノ十箇年度、八戸港ハ同年度乃至同二十一年度ノ何レモ繼續事業トシテ起工スルコトトナレリ而シテ第二豫備金ヨリ支出ノ門司港浚渫工事ハ十年度

起工シ當該年度ヲ以テ完了セリ土崎港ハ前年度ヲ以テ一旦規定ノ工事ヲ完了セルモ尙本年度ニ於テ百五十萬圓ヲ追加シ昭和二十一年度迄ノ繼續事業トシテ續工スルコトトナレリ

港灣工事中本年度迄ニ完成ヲ告ゲタルモノハ敦賀港（第一期及第二期）、新潟港（舊工事）、長崎港、高松港、下關港（第一期）、門司港（浚渫工事トモ）、境港、鹽釜港（增補工事トモ）、今治港、小松島港、鹿兒島港、清水港、伏木港、清水港、宮古港、舞鶴港、若松港、小名濱縣、細島港ノ二十二工事ニシテ尙工事中ノモノハ關門海峽（第一期ヲ含ム）、神戸港、橫濱港、土崎港、高知港、七尾港、尾道港、博多港、靑森港第二期、宇野港、三角港、大分港、廣島港、和歌山港、酒田港、八幡港、戶畑港、下關港第二期、宇部港、門司港、苅田港、新潟港、臨海地帶（關門海峽綜合計畫）、八戶港ノ二十四港灣ナリトス

第三　復舊、補修及應急事業

大正十二年九月一日關東地方ニ於ケル稀有ノ大震災ノ爲メ直轄事業其他ノ被リタル損害ハ多大ナルモノニシテ之レガ焦眉ノ急ト爲シ河川ノ復舊工事トシテハ利根川及渡良瀨川、荒川、多摩川、富士川ノ五河川流域ニ對シ大正十二、十三ノ兩年度ニ於テ應急施行シ又砂防ノ復舊工事トシテハ相模川及酒匂川、早川、花水川、多摩川ノ五河川流域ニ對シ同十三年度以降十箇年度ノ繼續工事トシテ施行スルモノニシテ既ニ河川工事ハ豫定ノ如ク之ヲ完了シタリ而シテ橫濱港ニ對シテハ同十二年度以降三箇年度施行ニ係リ其費額ハ從來ノ橫濱港修築費ノ第三期工事ト共ニ橫濱港復舊及修築費トシテ施行スルモノニシテ其復舊工事ハ同十四年度ヲ以テ完了シタリ又大正十四年八月中旬ニ於ケル近來稀有ノ大出水ニ因リ利根川本流筋及派川江戶川、支川渡良瀨川ノ被害ニ對シ大正十四、十五ノ兩年度ニ於テ之ガ復舊工事ヲ施行シタリ尙昭和三年八月初旬ニ於ケル稀有ノ出水ニ因リ利根、渡良瀨兩川維持工事ニ與ヘラレタル被害ニ對シテモ昭和三、四ノ兩年度ニ之ガ復舊工事ヲ要スル事トナリ施行中ノ處該年度ヲ以テ其工ヲ竣ヘタリ又昭和六年九月同兩川筋ニ於ケル大震災ニ因ル復舊工事ヲ昭和六、七兩年度ニ施行ス

ルコトトナリ又信濃川、大河津自在堰ハ昭和二年六月下旬竝ニ同年七月上旬ニ於テ突如「ピーヤ」陷沒ノ爲メ水量調節ノ機能ヲ失ヒタル影響トシテ大河津下流ノ本流及派川中ノ口川沿岸ノ灌漑ト航通トニ支障ヲ及ボシ之ガ應急工事ヲ施行セルト共ニ其復舊及附隨ノ諸工事ヲ施行スルコトトナリ其應急工事ハ同年度内ニ完成シ其補修工事モ六年度ヲ以テ完成シ利根、渡良瀬兩川築堤其他震災復舊工事モ同七年度ヲ以テ之ガ完成ヲ見タリ而シテ第二期川タル大和川ハ地辷ノ爲メ河幅ノ狹窄、河床ノ降起ヲ招キ流水ノ閉塞ヲ來シ之ガ復舊ニ努メタリシモ地辷運動ノ終息ヲ見ルニ至ラズ洪水防禦上完全ヲ期スルガ爲メ同八年度ヨリ著工セル應急工事及九年度著工ノ桂川災害復舊工事モ十年度ニ於テ竣功セリ而シテ同十年度ニ於テ淀川維持工事及利根、渡良瀬兩川維持工事、筑後川改修工事ニ與ヘタル水害ハ之ガ復舊ノ要アルヲ以テ施工ノ上共ニ十一年度ヲ以テ竣功シ尚十二年度ニ於ケル淀川災害復舊工事及清水港修築工事ニ附隨スル同年度着手ノ震災復舊工事モ其年度内ニ竣功シタリ又同十年度被害ニ係ル利根川應急增補工事ハ十一年度以降四箇年度繼續事業トシテ淀川修補工事ハ十四年度以降十箇年度ノ繼續工事トシテ施行スルコトトナレリ尚土崎港震災復舊工事モ前年度著工シ年度内竣功ヲ見タリ故ニ本事業トシテハ相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事及利根川應急增補工事、淀川修補工事ノ各水害復舊工事ノ施行ヲ剩スモノナリトス

第四　國道改良事業

經濟界不況ノ影響トシテ全國的ニ亙ル幾多失業者ノ發生ハ頗ル寒心ニ堪ヘザルトコロニシテ之ガ爲メ失業救濟道路改良費ノ稱呼ノ下ニ專ラ一般勞働者ノ失業ヲ救濟スルノ目的ヲ以テ創定ヲ見タリ尤モ從來道路改良費トシテ道路ノ改良ヲ助成スル爲メ地方ヲシテ國道以下適當ナル改良事業ヲ起興セシメ政府ハ之ニ對シ補助スルノ方針ヲ以テ制定セラレタリシヲ國家ノ直營事業トシテ昭和六年度ニ於テ失業救濟ノ國道改良工事ヲ施行スルト同時ニ各地方ニ於テモ國庫ノ補助ヲ仰ギ實施スル府縣道ノ改良工事ト相俟テ其效果ヲ擧グル計畫ナリトス而シテ失業救濟事業トシテハ獨リ道路ニ止マラズ河川、港灣等アレドモ焦

眉ノ急トシテハ普遍的ナル道路工事ニ依レルヲ得策トシ先ヅ以テ昭和六年度ニ於テ國道改良工事ノ撰擇ヲ見タルモノニシテ本工事ハ總テ機械力ニ依ラズ一箇年度ヲ限リ完了スルヲ目途トシテ著手セルモノニシテ其工事ニ使役サルル勞働者ハ地元ノ失業者ニ限ラレ失業緩和ニ資シタルモノナリ

然ルニ七年度ニ於テモ經濟界ノ不況ハ依然トシテ去ラズ尚各種事業ノ萎微不振ノ爲メ失業者依然減少スルニ至ラズ仍テ之ガ救濟ヲ圖ル爲メ前年度ノ殘工事ノ外引續キ政府直轄ノ下ニ國道ノ改良事業ヲ起興セントシタルモ第六十回帝國議會ハ解散セラレ豫算不成立ニ終レリ然レドモ失業者ノ救濟ハ焦眉ノ急ナルヲ以テ不取敢昭和六年度豫算四、五兩箇月分ノ工事費ヲ政府直轄國道改良事業費實行豫算トシテ計上シ前年度ト同樣失業者ヲ救濟スルト同時ニ道路改良ノ促進ヲ計リタリ然ルニ世界的經濟界ノ不況ハ益々深刻ヲ加ヘ失業者簇出スルノ現狀ナリシヲ以テ積極的ニ事業ヲ興シ產業ノ振興ヲ圖リテ失業ノ防止ト救濟トニ力ムルノ方針ヲ採リ新ニ產業振興道路改良事業ヲ計畫シ以テ自動車ノ發達ニ基因シテ要求セラルル道路改良ノ急ニ應ジ自動車ノ機能ヲ產業ノ進展ニ利用スルコトヲ企圖シタリ卽チ從來ノ道路改良計畫ハ徒ニ長期ニ亙ルノミナラズ國庫補助政策ノミヲ以テシテハ充分ナラザルノ嫌アリ仍テ昭和七年度以降五箇年度間ニ亙ル計畫ヲ樹立シ國道直轄ノ制度ヲ確立スルニ至レリ而シテ右計畫ノ下ニ第六十二回帝國議會ニ追加豫算ヲ計上其ノ協賛ヲ得、前述ノ失業救濟國道改良費豫算ト共ニ國道ヲ改良スルコトトシタリ然ルニ財界ノ不況彌々深刻ニシテ農山漁村ノ疲弊其極ニ達シ到底右計畫ヲ以テシテハ窮狀ヲ打開スル能ハザルノ實情ニ至レルヲ以テ更ニ第六十三回臨時議會ノ協賛ヲ經テ農村振興ノ爲メニ必要ナル工事ヲ起興シ既定產業振興國道改良事業ト併セ工事ヲ施行スルコトトシタリ

而シテ八年度以降ニ於テモ亦財界ノ不況依然トシテ去ラズ都市ニ於テハ多數ノ失業者ヲ見又農村ノ疲弊尙癒エズ中小商工業者ノ窮狀緩和サルルニ至ラザルヲ以テ八年度ニ在テハ前年度ニ於テ執行シタルト同樣ノ道路工事ヲ起興シテ所謂非常時局ヲ匡救スルノ必要アリ仍テ前記道路改良五箇年度計畫ノ趣旨ニ則リ政府自ラ國道改良工事ヲ施行セシガ九年度ニ於テモ前記ノ

狀態ヲ持續セルヲ以テ改良工事ヲ續行スルノ外農村ノ疲弊救濟ノ趣旨ヲ以テ應急工事ヲモ施行シ十年度亦前年度ノ後ヲ承ケテ續工セリ斯ノ如ク昭和六年度以來國道改良工事トシテ直轄施行シ良好ノ成績ヲ收メ來リシガ元來國道ハ國家交通ノ幹線ナルヲ以テ其重要ナル改良ニ就テハ政府ニ於テ之ヲ統一シテ施行スルヲ至當ナリトシ同十一年度ヨリハ主トシテ國道改良費トシテ繼年工事ヲ施行スルコトトナレリ尚急施ヲ要スルモノ等ハ單年度施行ヲ爲スモノナリトス而シテ昭和十四年度以降十箇年度繼續事業トシテ關門海峽海底隧道及之ニ連絡スベキ陸上隧道ノ建設工事ヲ施行シ尚本年度ニ於テ舖裝工事トシテ初メテ六路線ノ施工ヲ見ルニ至レリ

以上述ベタル事業ニ付テハ何レモ道路改築ノ見地ニ基キ交通上最モ重要ナル路線及箇所ヲ撰擇シテ其改良ノ效果ヲ充分ナラシムルニ努メ且工事ノ施行ニ關シテハ凡テ政府自ラ直營スルノ方針ヲ採リ各土木出張所ヲシテ之ヲ施行セシムルコトトシタリ其ノ工事ノ狀況ハ第六章ニ於テ表示スルガ如クニシテ其列擧ニ就テハ新ニ著工セルモノト繼年事業、單年度事業及前年度ノ繰越ニ係ルモノトニ區分シ各事業ノ關係ヲ知ルノ便ニ供シタリ

第五　本年度施行工事

本年度ニ於テ直轄工事ヲ施行セルハ河川改修五十六、河川附屬物及水路維持七、砂防二十、港灣改良二十三、復舊修補及應急三、國道改良八十七　合計百九十六工事ニシテ何レモ本省直轄ノ下ニ東京、橫濱、仙臺、新潟、名古屋、大阪、神戸、下關ノ八土木出張所ニ於テ其施行ヲ擔當ス而シテ本年度施行ニ關スル是等ノ總工費現在豫算額ハ河川改修工事費四億八千七十八萬四千二百九十二圓、河川附屬物及水路維持工事費一千六百八十萬三千六百五十八圓、砂防工事費二千五百二十四萬三千八十三圓、港灣改良工事費一億九千二百六十萬九千八百六圓、復舊修補及應急工事費二千二百五十四萬三千三百二十四圓、國道改良工事費八千二百四十二萬八千三百二十九圓、合計八億二千四十一萬二千四百九十二圓ニシテ起工以來本年度迄ノ竣

功額ヲ累算スレバ四億七百四十五萬四千四百四十九圓ニ達シ其内本年度ノ竣功ニ屬スルハ四千百五十六萬三千二百八十四圓ナリトス之ヲ本年度末ノ竣功歩合ニ就テ見レバ河川改修工事費ハ其總工費既定額ノ五割ニ當リ河川附屬物及水路維持工事費ハ同八割九分、砂防工事費ハ同五割四分、港灣改良工事費ハ同五割五分　復舊工事費ハ同三割五分　國道改良工事費ハ三割三分ニシテ各工事ヲ通ジタル竣功歩合ハ同五割ニ當レリ而シテ以上ノ外明治三十六年度以降前年度迄ニ竣功シタル主ナル各工事費累算額ハ三億一千六百九十八萬五千七百五十三圓ニシテ之ヲ前記本年度迄ノ竣功額ニ合算セバ實ニ七億二千四百四十四萬餘圓ノ巨額ニ達セルモノナリトス今以上ノ工事費ヲ各工事ニ區別シ之ヲ列記スレバ次表ノ如シ但シ前回年報ニ比シ差違アルハ豫算額ヲ增減シタルモノアルト竣功セルモノヲ除キ新規著手ノ分ヲ加ヘタルト前年度迄ノ決算額ノ改訂ヲ爲シタル等ニ因ル表中工事名欄國道改良工事中ノ「繼國改」トアルハ國道改良ノ繼年事業、「繰國改」トアルハ前年度ヨリノ國道改良ノ繰越事業　「繼國新」トアルハ國道新設ノ繼年事業、「繼新」トアルハ繼續新規工事ヲ示シ　單ニ「國改」又ハ「時匡」トアルハ本年度ニ於ケル新規着工ノ國道改良事業若クハ時局匡救事業ヲ示ス又竣功額欄ノ符號ヲ以テ示シタルモノノ内「◎」ハ縣市其他ノ負擔額　「□」ハ管理者負擔額、「▲」ハ寄附又ハ提供材料竝勞力費、「×」ハ土木試驗所試驗費補給減額　「◉」ハ依託工事費、「●」ハ災害土木工事費ヲ示ス而シテ殘高欄ノ「△」ハ超過額ヲ示シタモノニシテ斯ク豫算額ヨリ超過セルモノアルハ他ヨリ流用シタルモノ等アルニ因ル

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
河							
荒川上流改修工事	東京	円	円	円	円	円	割分
最上川改修工事	新潟						

河川改修事業

| | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
		円	円	円	円	円	割分
河川改修							
鬼怒川改修工事	東京	一二、三九一、九〇四	□	□	三六四、九〇九	四、三四六、六〇五	〇・六二
大淀川改修工事	下關	五、〇五二、六四七	□▲	□▲	三、四一四、五九四、九四五	一、六三八、〇五一	〇・六八
狩野川改修工事	横濱	四、九五六、九二五	□▲	□▲	四、〇三七、一六一	九一六、三一一	〇・八一
那賀川改修工事	神戸	四、六一〇、五七五	□▲	□▲	一、九二三、八六六	二、三三六、七〇九	〇・五〇
大野川改修工事	下關	四、四一二、三九	□▲	□▲	一、六二七、一八〇	一、七四二、三八	〇・五九
渡川改修工事	神戸	七、二八一、八二	□▲	□▲	二、六六一、一〇七	四、二八七、〇七四	〇・四一
木津川改修工事	大阪	三、三三五、五七〇	□▲×	□▲×	一、八二一、〇九	一、五一四、四六一	〇・五五
川内川改修工事	下關	三、〇五五、〇〇〇	□▲	□▲	一、七七一、〇九	一、八三一、〇一五	〇・四九
太田川（廣島）改修工事	大阪	一五、〇〇〇、〇〇〇	□▲×	□▲×	二、九九三、一〇一	一二、〇〇六、九九〇	〇・二〇
安倍川改修工事	横濱	四、八〇〇、〇〇〇	□	□	一、九六三、七二七	二、八三六、二七	〇・四一
多摩川上流改修工事	東京	三、五四〇、〇〇〇	□	□	一、八六二、七〇三	一、六七七、四三〇	〇・三五
最上川上流改修工事	新潟	一七、九五三、八〇〇	□▲×	□▲×	五、三九七、二六一、一五四	一二、五三八、〇九六	〇・三二
矢作川改修工事	名古屋	五、九七三、〇〇〇	□	□	二、一五七、九八四	三、四〇一、〇一六	〇・四三
淀川低水工事	大阪	一、七二〇、三四〇	▲	▲	一、七〇五、五八九	一四、七五三	〇・九九
小貝川改修工事	東京	四、五七三、〇〇〇	□	□	二、二六一、三六九	二、三一一、六一八	〇・四九

| 修工事 | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
		円	円	円	円	円	割分
河川改良工事							
表六甲河川改良工事	神戸	三〇、四七五、二九五	●×	●×	●×	二六、四四一、三三一	〇・一三
鶴見川改修工事	横濱	六、七〇〇、〇〇〇	一、五四七、二五五	二、四八四、七〇九	四、〇三一、九六四	二、六六九、〇三六	〇・三八
猪名川改修工事	神戸	一二、八〇〇、〇〇〇	一〇九、二五九	四三七、二六一	五四六、五一〇	六、一五三、四八〇	〇・〇八
菊池川改修工事	下關	七、五〇〇、〇〇〇		八六、七四三	八六、七四三	七、四一三、二五七	〇・〇一
庄川改修工事	新潟	五、九〇〇、〇〇〇		八三、三三五	八三、三三五	五、八一六、六六五	〇・〇一
小計（五六）	八	四八〇、七八四、二九二	二二二、六五一、九八三	一五、七二一、八八一	二三八、三七三、八六四	二四一、四一〇、四一八	〇・五〇
河川附屬物及水路維持工事							
木曾川附屬物及水路維持工事	名古屋	一、七一四、一〇六		一、六三〇、一八五	一、六三〇、一八五	四九、〇二八	〇・九七
淀川維持工事	大阪	二、九四六、六一七	▲	二、五六四、四二二 四三、八六二	二、七五六、二五七 四三、八六二	一九〇、三六〇	〇・九四
利根、渡良瀬兩川維持工事	東京	六、二九四、〇三八		五、七六七、八三九	五、七六七、八三九	二三四、一五九	〇・九六
信濃川維持工事	新潟	二、〇五一、〇七四		一、四九五、一〇三	一、四九五、一〇三	四四六、八五四	〇・六八
荒川維持工事	東京	一、九四五、八三三	▲	▲	▲	五三二、一三三	〇・七三
多摩川維持工事	東京	一、〇〇一、〇〇〇	▲◎	▲◎	▲◎	二六九、一五四	〇・三五
北上川維持工事	仙臺	七四一、〇〇〇		四六九、五一八	四六九、五一八	一八七、九二一	〇・七五
小計（七）	五	一六、八〇三、六五八	一三、八七五、〇〇三	一、〇一八、五七六	一四、八九三、五七九	一、九一〇、〇七九	〇・八九

| | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
		円	円	円	円	円	割分
砂防工事							
安倍川流域（大河内川）砂防工事	横濱	三〇九、〇九二	一二三、九七四	四五、四一二	一五九、三八六	一四九、七〇五	〇・五二
最上川流域（立谷澤川）砂防工事	新潟	三〇九、〇九一	八七、八八五	四一、三三八	一二〇、二二三	一七八、八六八	〇・四二
六甲山系砂防工事	神戸	一〇、〇〇〇、〇〇〇	八六四、九三九	八五〇、五六一	一、七一五、五〇〇	八、二八四、五〇〇	〇・一七
小計（二〇）	七	二五、二四三、〇八三	二、七八六、二三〇	一、八六五、三四四	一三、六五一、五七四	一一、五九一、五〇九	〇・五四
港灣改							
關門海峽改良工事	下關	四二、八六〇、六五〇	—	一、三四一、六五七	一、三四一、六五七	四一、五一八、九三一	〇・〇三
神戸港修築工事	神戸	四九、五二六、三四六	三八、四四〇、八五六	四五二、三三七	三八、八九三、一九三	一〇、六三三、一五三	〇・七九
横濱港修築工事	横濱	二九、五八二、四〇四	一八、九九一、二三一	二四六、一八七	一九、二三七、五一八	一〇、三四四、八八六	〇・六五
土崎港修築工事	仙臺	三、三三一、〇〇六	一、九一四、五一四 五〇、〇〇〇	六九、一七二	一、九三三、七八六 五〇、〇〇〇	一、三三八、二一〇	〇・六〇
高知港修築工事	神戸	二、八四一、九三一	二、二七一、五七五	八六、六二七	二、三五八、二〇二	四八三、七二九	〇・八三
七尾港修築工事	新潟	二、五三三、三二一	一、九四九、七六八 一七、〇〇〇	五七、八五〇	二、〇〇〇、六一八 一七、〇〇〇	三五、六八三	〇・八六
尾道港修築工事	大阪	三、四三六、五八一	三、一五七、九六九 一二六、七四九 一六、〇〇〇	三五、四〇八 一、一〇〇	三、一九三、三七七 一二六、七四九 一七、一〇〇	二四三、一〇四	〇・九三
博多港修築工事	下關	六、一四二、五四三	四、九一五、三〇八 五七、八〇一	六四二、一一五 三一、八〇	五、五五八、四二三 八九、一〇一	六八五、一一〇	〇・八九
青森港修築工事	仙臺	三、二三一、五二七	二、〇四九、二一〇	二〇七、二一六	二、二六九、三五	一〇六、一五二	〇・六七
宇野港修築工事	大阪	二、三二一、六〇六	一、四一三、五九八 二、三五〇	八五、五八五 一、八六八	一、四九九、一八三 二、三五〇	八二、一四三	〇・六五

| | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
復舊應急修補工事及							
淀川修補工事	大阪	一六、〇〇〇、〇〇〇円	▲四四、五五九、五九四二	▲一、〇六二、一一四	▲一、四九七、五五九、一七三六	一四、五〇二、四四一円	〇・〇九
小計（二三）	二	二三、五四三、三二四	六、三七〇、〇一六	一、六五六、六六五	七、九二三、六九一	一四、五四九、六三三	〇・三五
國道一號線（保土ヶ谷）改良工事	横濱	二、一〇〇、〇〇〇	一、〇五一、一一〇	一八九、三〇三	一、二四〇、五一三	八五九、四七七	〇・五九
國道一號線（沼津）改良工事（繼國改）	横濱	一、八〇〇、〇〇〇	九一、六四四	一三七、八一五	二二九、四八九	一、五七〇、五一一	〇・一三
國道一號線（清水）改良工事（繼國改）	横濱	三、五〇〇、〇〇〇	—	八三、五九〇	八三、五九〇	三、四一六、四一〇	〇・〇二
國道一號線（袖師）改良工事（繼國改）	横濱	一〇〇、〇〇〇	七七、一五二	三一、七四八	一〇九、〇〇〇	—	一・〇〇
國道一號線（名靜）改良工事（繼國改）	名古屋	九〇〇、〇〇〇	二五二、一八八	九〇、六六九	三四二、八五七	五五七、一四三	〇・三八
國道一號線（名靜）改良工事（繼國改）	名古屋	九五〇、〇〇〇	二三六、〇三三	六六、〇〇〇	三〇一、〇三三	六四七、九六七	〇・三一
國道一號線（愛知第二）改良工事（繼國改）	名古屋	九五、〇〇〇	—	八八、二〇三	八八、二〇三	六、七九七	〇・九三
國道一號線（愛知第三）改良工事（繰國改）	名古屋	七〇、〇〇〇	五六、九五六	一五、一六七	七一、一二三	二一、一三三	一・〇〇
國道一號線（愛知）改良工事（國改）	名古屋	一五〇、〇〇〇	—	一五〇、〇八七	一五〇、〇八七	八七	一・〇〇
國道一號線（參宮）改良工事（繼國改）	名古屋	二、一〇〇、〇〇〇	三五九、七二九	二五、五五九	四八五、二八八	一、六一四、七一二	〇・二三
國道二號線（滋賀）改良工事（國改）	大阪	九〇、〇〇〇	—	八九、九七七	八九、九七七	三	一・〇〇
國道二號線（兵庫）改良工事（繼國改）	神戸	一、四五〇、〇〇〇	三〇一、三一三 一二九、八七一 五六、七〇八	九四、三五五 二八、七三三	三九六、五三八 一二九、八七一 八五、四八一	一、〇五三、四六二	〇・七二

改良工事

| | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
國道 改							
國道四號線（越ヶ谷）改良工事（繰國改）	東京	一〇〇、〇〇〇	八一、五四一	一八、四五八	九九、九九九	一	一・〇〇
國道四號線（幸手）改良工事（繰國改）	東京	九〇、〇〇〇	六〇、五二七	二九、四八〇	八九、九七	三	一・〇〇
國道四號線（栃木）改良工事（國改）	東京	一五〇、〇〇〇		一〇一、四六六	一〇一、四六六	四八、五三四	〇・六八
國道四號線（雀宮）改良工事（繰國改）	東京	八〇、〇〇〇	五四、三九九	二五、六〇〇	七九、九九九	一	一・〇〇
國道四號線（宮城）改良工事（國改）	仙臺	一〇〇、〇〇〇		九七、三一〇	九七、三一〇	二、六八〇	〇・九七
國道四號線（宮城）改良工事（繰國改）	仙臺	一五一、一〇四	九三、八二六	四九、三九二	一四三、二一八	八、八八六	〇・九四
國道四號線（岩手）改良工事（國改）	仙臺	一〇〇、〇〇〇		一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇		一・〇〇
國道四號線（岩手）改良工事（繰國改）	仙臺	三〇、〇〇〇	一〇、五〇四	一九、四九六	三〇、〇〇〇		一・〇〇
國道四號線（岩手）改良工事（國改）	仙臺	一三一、〇〇〇		一〇一、三九六	一〇一、三九六	三〇、六〇四	〇・八六
國道四號線（青森）改良工事（繰國改）	仙臺	九〇、〇〇〇	七九、八八八	一〇、一一二	九〇、〇〇〇		一・〇〇
國道四號線（青森）改良工事（國改）	仙臺	一〇〇、〇〇〇		八六、五六四	八六、五六四	一三、四三六	〇・八七
國道五號線（福島）改良工事（國改）	仙臺	一二〇、〇〇〇		一二〇、〇〇〇	一二〇、〇〇〇		一・〇〇
國道五號線（秋田）改良工事（國改）	仙臺	◎一〇〇、〇〇〇	◎	◎七一、五五三 五六、九九〇	七一、五五三 五六、九九〇	七一、四五七	〇・七四
國道五號線（青森）改良工事（繰國改）	仙臺	一〇〇、〇〇〇	八二、四〇七	一七、五九三	一七、五九三		一・〇〇
國道五號線（青森）改良工事（國改）	仙臺	一〇〇、〇〇〇		八六、五九二	八六、五九二	一三、四〇八	〇・八七

國道六號線（常總）改良工事（繼國改）	東京	四、三六六、七〇〇									
國道六號線（水戸）改良工事（繰國改）	東京	一七五、〇〇〇	◎	八四、九七一 八五、三三九	◎	六〇、五〇六	◎	八四、九七一 八九、九〇二	◎	四、三〇六、〇四四	〇・〇一
國道六號線（水戸）改良工事（國改）	東京	一一七、五〇〇				一一〇、一六一		一一〇、一六一		七、三三九	〇・九三
國道六號線（多賀）改良工事（繰國改）	東京	八二、八〇〇		五七、六〇〇		一二四、八八五		一二四、八八五		一五	一・〇〇
國道六號線（福島）改良工事（國改）	仙臺	一〇〇、〇〇〇				九七、一二四		九七、一二四		二、八七六	〇・九七
國道八號線（山梨）改良工事（繰國改）	横濱	七〇、〇〇〇		五九、四三六		一〇、五六四		七〇、〇〇〇		一	一・〇〇
國道八號線（山梨）改良工事（國改）	横濱	一三四、四四一				一〇五、七七二		一〇五、七七二		二八、七六九	〇・七九
國道九號線（群馬）改良工事（國改）	東京	一〇〇、〇〇〇				八五、一九二		八五、一九二		一四、八〇八	〇・八五
國道九號線（三國峠）改良工事（繼國改）	東京	七五、〇〇〇				七二、五九一		七二、五九一		二、四〇九	〇・九七
國道十號線（長野）改良工事（國改）	新潟	一五〇、〇〇〇	◎		◎	一一五、二九八 一三、九七七	◎	一一五、二九八 一三、九七七	◎	三四、七〇二	〇・七七
國道十號線（第四埴科）改良工事（繰國改）	新潟	一〇〇、〇〇〇		七〇、六五四		二九、三四六		一〇〇、〇〇〇		一	一・〇〇
國道十號線（鶴岡）改良工事（繰國改）	新潟	一〇〇、〇〇〇		六六、八〇〇		三三、一〇〇		一〇〇、〇〇〇		一	一・〇〇
國道十號線（第二鶴岡）改良工事（國改）	新潟	一五〇、〇〇〇	◎		◎	一二三、八〇四 八二、九四九	◎	一二三、八〇四 八二、九四九	◎	三六、一九六	〇・七六
國道十一號線（親不知）改良工事（繼國改）	新潟	五〇〇、〇〇〇		四七三、〇九九		二六、九〇七		四九九、九七六		二四	一・〇〇
國道十一號線（親不知）改良工事（國改）	新潟	七〇、〇〇〇				六〇、二八二		六〇、二八二		九、七一八	〇・八六
國道十一號線（富山）改良工事（國改）	新潟	一五〇、〇〇〇				一二三、九九六		一二三、九九六		二六、〇〇四	〇・八三
國道十一號線（高岡）改良工事（繼國改）	新潟	八〇〇、〇〇〇		六六六、六三〇		九六、九八一		七六三、二二一		三六、七八九	〇・九五

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
		円	円	円	円	円	割分
國道十二號線（關ヶ原）改良工事（國改）	名古屋	一六五、〇〇〇		一二八、一九五	一二八、一九五	三六、八〇五	〇・七八
國道十二號線（名敦）改良工事（繼國改）	名古屋	九〇〇、〇〇〇	二三三、〇九三	七六、五六三	三〇九、六五六	五九〇、三四四	〇・三四
國道十二號線（石川）改良工事（繼國改）	新潟	二、七〇〇、〇〇〇	二二五、七六一	九四、一七七	三〇九、九三八	二、三九〇、〇六二	〇・一二
國道十三號線（岐阜）改良工事（繼國改）	名古屋	一五〇、〇〇〇	◎ 一八、九一六	◎	三六、〇一一 九九、九九七	一一三、九八九	〇・二四
國道十五號線（京都）改良工事（繼國改）	大阪	一、六〇〇、〇〇〇	◎▲ 四四五、一五四八 一、六三八、二三九	◎▲ 八九、九五六 二六〇	五三五、一〇四 一、八九八、二三九	一、〇六四、八九六	〇・三三
國道十五號線（奈良）改良工事（繰國改）	大阪	八〇〇、〇〇〇	六〇九、八六七	一八九、五六三	七九八、四三〇	五七〇	一・〇〇
國道十五號線（奈良）改良工事（國改）	大阪	七〇、〇〇〇		七〇、〇五一	七〇、〇五一	五一	一・〇〇
國道十五號線（奈良）改良工事（繼國改）	大阪	七五〇、〇〇〇		五二、五五〇	五二、五五〇	七一七、四五〇	〇・〇八
國道十五號線（和歌山）改良工事（國改）	大阪	八〇、〇〇〇		六六、七四八	六六、七四八	一三、一五二	〇・八三
國道十五號線（和歌山）改良工事（繰國改）	大阪	七〇、〇〇〇	五九、一八〇	二、三四五	七一、五二五	一、五三五	一・〇〇
國道十六號線（和歌山）改良工事（繼國改）	大阪	二、四六八、〇〇〇	◎ 九、八一〇 一〇八、八二三	◎	三一、九四〇 一八九、〇八一	四、七五〇 二九七、九〇四	〇・一六
國道十六號線（大阪、和歌山）改良工事（繼國改）	大阪	一、七三一、八四	一九七、三六〇	一〇、三八四	二〇八、七四四	一、四三三、四四〇	〇・一七
國道十八號線（阪鶴）鋪裝工事（國改）	大阪	一三一、〇〇〇		一三一、〇〇〇	一三一、〇〇〇		一・〇〇
國道十八號線（鳥取）改良工事（國改）	大阪	三一〇、〇〇〇	◎ 一一、四八五 一五四、九〇二	◎	一一四、四八五 一五四、九〇二	五〇、六一三	〇・八四
國道十八、十九號線（島根）改良工事（國改）	大阪	二三〇、〇〇〇	◎ 一一、八九八 一五、四一六	◎	一二、八九八 一五、四一六	九一、六八六	〇・六〇

| 良工事 | | |

第六竣功工事

直轄ニ係ル河川改修工事、砂防工事及港灣改良工事ニシテ昭和十四年度迄ニ竣功シタル主要ナルモノヲ一括シ其竣功順ニ列擧スレバ左表ノ如シ但シ竣功額ノ豫算額ヨリ超過シタルモノアルハ流用額アリタル等ニ因ル

工事名	地方名	著手年度	竣功年度	豫算額	竣功額
河川改修					
筑後川改修工事	福岡、佐賀	明治二十九年度	明治三十六年度	円 一、四八四、〇〇〇	円 一、四六八、〇三四
淀川改修工事	大阪、滋賀、京都	同　二十九年度	同　四十三年度	一〇、〇九四、〇〇〇	一〇、〇六二、二一三
木曾川下流改修工事	岐阜、愛知、三重	明治二十年度	大正　元年度	九、四五四、三八〇	九、四五九、三七三
庄川改修工事	富山	同　三十三年度	同　元年度	二、九九二、四三二	二、九七二、三三九
遠賀川改修工事	福岡	同　三十九年度	同　七年度	四、八三一、〇〇〇	四、八一五、四五五
淀川下流改修工事	大阪	同　四十年度	同　十一年度	三、七五五、〇〇〇	三、七三九、五八六
九頭龍川改修工事	福井	同　三十三年度	同　十三年度	五、五二〇、四〇二	五、五四五、一五一
渡良瀬川改修工事	茨城、群馬、栃木	同　四十三年度	昭和　元年度	一一、四〇〇、〇〇〇	一一、三七〇、三三三
信濃川改修工事	埼玉	同　四十年度	同　二年度	三三、五四一、九五〇	三三、五三八、一二六
吉野川改修工事	新潟	同　四十年度	同　二年度	二二、〇一六、二八五	二二、七九一、二八五
高梁川改修工事	徳島	同　四十年度	同　二年度	七、九六一、〇八七	七、八二六、一〇六
利根川改修工事	岡山	同　三十三年度	同　五年度	六三、四〇三、一一七	六三、三九八、四〇六
荒川下流改修工事	東京、埼玉、千葉	同　四十四年度	同　五年度	三一、三四四、〇〇〇	三一、三四二、一四六
淀川改修増補工事	茨城、栃木、群馬	大正　七年度	同　七年度	一四、五一七、八五一	一四、二九七、二五五
阿賀野川改修工事	東京、埼玉	同　四年度	同　八年度	二一、八八七、一二〇	二一、八八七、二二九
	大阪、京都				
	新潟				

工事									
多摩川改修工事	東京、神奈川	同	七年度	同	八年度	七、四一四、七八九	七、二〇〇、〇一一		
北上川改修工事	宮城	明治四十四年度		同	九年度	一四、三七一、〇九九	一四、三七一、五三三		
太田川改修工事	静岡	大正	八年度	同	九年度	四、五一九、四〇一	四、五一七、四四九		
加古川改修工事	兵庫	同	七年度	同	十年度	五、八一四、四八五	五、五五九、二六四		
神通川改修工事	富山	同	七年度	同	十二年度	八、二五五、二八四	八、二八八、五六四		
圓山川改修工事	兵庫	同	九年度	同	十二年度	七、七七一、七七一	七、〇七一、四八六		
小		計（二一一）		明治二十九年度		同	十二年度	二六一、八二、三五一	二六〇、五四一、六二六
砂防工事									
吉野川流域砂防工事	徳島	大正	四年度	大正	九年度	一五〇、〇〇〇	一四一、一五八		
野洲川流域砂防工事	滋賀	同	四年度	同	十三年度	六〇、〇〇〇	五九、八三三		
神通川流域砂防工事	岐阜	同	八年度	昭和	五年度	二七六、八三八	二七六、五七六		
桂川流域砂防工事	京都	同	五年度	同	六年度	九五、一〇〇	九四、九六三		
小		計（四）		同	四年度	同	六年度	五八一、九三八	五七二、五三〇
港灣改良工事									
敦賀港修築工事	福井	明治四十二年度		大正	二年度	八〇〇、〇〇〇	七三三、二一〇		
新潟港修築工事	新潟	大正	六年度	同	十四年度	二、三四一、一〇九	二、三二六、九〇一		
長崎港修築工事	長崎	同	九年度	昭和	二年度	二、四七〇、〇〇〇	二、四六三、七六八		
高松港修築工事	香川	同	十一年度	同	三年度	二、一〇〇、〇〇〇	二、一八八、八八四		
下關港修築工事	山口	同	十年度	同	四年度	三、四四一、〇〇〇	三、一七二、一三〇		
門司港修築工事	福岡	同	八年度	同	六年度	五、八九〇、〇〇〇	五、五五七、六八三		
境港修築工事	鳥取	同	十一年度	同	六年度	一、九七五、七七四	一、九七四、八四〇		
鹽釜港修築工事	宮城	同	三年度	同	七年度	五、〇七、七八一	五、〇八七、〇三		

工事名	地方名	著手年度	竣功年度	豫算額	竣功額
港灣改良工事					
敦賀港修築工事	福井	大正十一年度	昭和七年度	円 三、四三二、六四三	円 三、四三二、六四三
今治港修築工事	愛媛	同十一年度	同八年度	二、九二一、〇二九	二、九二一、〇二九
小松島港修築工事	德島	同十二年度	同九年度	二、八八一、三八四	二、七九八、六六三
鹿兒島港修築工事	鹿兒島	同十二年度	同九年度	二、七〇七、八三一	二、六三〇、〇〇九
鹽釜港修築增補工事	宮城	昭和七年度	同九年度	五六二、〇〇〇	五六六、〇〇〇
伏木港修築工事	富山	大正十二年度	同十一年度	四、〇七六、五一〇	四、〇七五、三五一
清水港修築工事	靜岡	同十年度	同十二年度	八、六七七、四三九	八、〇八九、五一八
宮古港修築工事	宮城	昭和四年度	同十二年度	一、八〇〇、九二一	一、五六三、五四八
舞鶴港修築工事	京都	同四年度	同十二年度	一、三八〇、四〇八	一、四九九、二四五
若松港修築工事	福岡	同七年度	同十二年度	八〇〇、〇〇〇	七五一、〇四八
小名濱港修築工事	福島	同四年度	同十三年度	二、七六一、二九四	二、五七九、九五五
細島港修築工事	下關	同四年度	同十四年度	一、三五八、三六五	一、三五八、三六五
小計（二〇）		明治四十二年度	同十四年度	五七、七六三、一九二	五五、八七一、四九七
總計（四五）		同二十九年度	同十四年度	三〇、一五七、四八〇	三一六、九八五、七五三